

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県警備町 公立普住病院

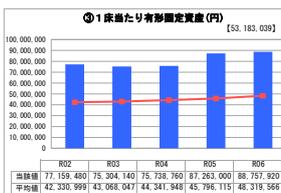
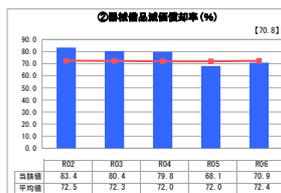
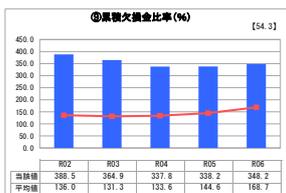
法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特等診療設備 ※1	指定病院の状況 ※2
	8		選 別	救 命
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中後病院	看護配置
15,303	7,138	※1種該当		10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 1…ICU・CCU 床…NICU・集中病室 別…運動機能訓練室 が…ガン（放射線）診療
 ※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総合）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（産科産）	許可病床（合計）
-	-	50
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
40	-	40

グラフ凡例
■ 当院病院数（当院値）
■ 類似病院平均値（平均値）
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

取組区分・実施時期	実施内容	実施時期
施設設備	地方独立行政法人化	令和5年度
経営管理	指定管理者制度導入	令和5年度

I 地域において担っている役割

香美町全体が過疎地域に指定されており、山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供を担っている。
 また、高齢化が進み、在宅療養が困難な患者が増えることと高齢老人保健施設、訪問看護等の在宅医療提供体制の充実を図ることで、地域包括ケアシステムを推進している。

II 分析編

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は発給外患者数が前年度より大幅に減少したため、外来収益は増となったが、令和6年度は外来患者数が若干の増となり、外来収益は増となっている。しかし入院患者数の減により、入院収益は減少し、また支出では、給与等の増や物価高騰による経費の増などにより総収支・経費収支比率・修正経費収支比率は前年度を下回った。また入院患者数の減により病床利用率は減となり、職員給与費対経費収支比率は前年度より5ポイントの増となった。

2. 老朽化の状況について

平成3年に建設した病棟本館は、すでに30年が経過し、老朽化が著しくなってきたため、令和3年度から一部改築を進めてきた。令和3年度は旧リハビリ棟を解体し、令和4年から年度にかけて、透新築、リハビリ室、まつら室を備えた東館を新築した。
 また、平成3年以降に建物と共に整備した医療機器、器具備品も次々と更新時期を迎えている。
 令和5年度は東館の新築や機器の購入により償却資産が増えたため、有形固定資産減価償却率及び設備備品減価償却率ともに前年度を下回ったが、令和6年度は若干の増となっている。
 なお、有形固定資産の減価償却率は平均値を上回っているため、計画的な老朽化対策が必要となっている。
 また、1床当たり有形固定資産は平均値の2倍近くとなっているが、これは病棟本館の建設時から比べて病床数を半分に減らしたことによるものである。

全体総括

医療活動における経営状況を判断する入院患者1人1日当たり収益は前年度を下回っており、類似病院平均値より下回っているため、入院患者の増が課題となっている。外来患者1人1日当たり収益は前年度とほぼ同額で、類似病院平均値より上回っている。經常収支比率や経費収支比率は給与増や物価高騰による経費増などの影響で前年度より減となっているが、類似病院平均値よりは高くなっている。
 当院は類似区分の50床以上100床未満の中でも50床と最小の規模であるが、令和6年度は患者数及び類似病院平均から大きく離れている。令和6年度は患者数、増収対策等の経営改善を行い、住民により良い医療サービスの提供に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。